

JAL羽田空港整備工場などを巡る

日夜、空の安全を最優先に

19日(金)、21回目の史跡めぐりは、①JAL羽田空港整備工場見学、②羽田空港国際線展望デッキ、③羽田空港国際線内「江戸小路」だ。特に、①の「JAL旅客機整備場」と聞くと、どうしても、1985年8月12日、東京・羽田空港を飛び立った日航機が墜落事故を起こして、乗員乗客524人うち、520人が死亡した世界史上最悪の死者数を出した航空事故が頭をよぎる。また、昨年从今年にかけて、乗務中の日本航空乗務員による飲酒・アルコール検出も明らかになった。空の安全・乗客の安全を最優先に、常に私たちに信頼感を与えられる姿勢と、組織づくりが望まれるのではないだろうか。

JAL羽田整備工場へ

大宮駅10時、7人が集合。早速、京浜東北線で浜松町へ。早昼食を済ませた後、東京モノ



展示エリア内展示品

ノレールに乗車。羽田空港国際

見学の重点は3つ

(1) 航空教室

最初に「航空教室」へ移動して約30分。映像や画像を用いてパイロット経験者から、①航空機の飛ぶ仕組み、②飛行機の歴史、③飛行機の種類、④JALグループが就航する国内、海外の都市の紹介、⑤整備場の内容、⑥羽田空港の概要などについて詳しい説明を受けた。経験者の説明は解りやすい。

(2) 展示エリア

展示エリアに移って約30分、JALグループの歴代航空機「50サイズのモデルプレーン」を展示したエリア。壁面上でJALグループの歴史を年代ごとにわかりやすく紹介するコーナー。JALグループの歴代制服も一堂に展示している。



JAL グループ歴代制服

仕事紹介コーナーでは運航乗務員、客室乗務員、整備士、空港スタッフ、グランドハンドリング&貨物スタッフの各職種のブースを設置している。また、スタッフの仕事内容や、日常業務で重要な役割を果たす「7つ道具」の紹介。実際に体験できるコンテンツ。クイズなどが用意されていた。また、制服を着用しての記念撮影も楽しんだ。

(3) 格納庫見学

最後は約40分、格納庫を見学。飛行機や機体整備に関する説明を受け、実際に整備士が整備する姿や迫力ある本物の飛行機を間近で見た。また、記念撮影や、滑走路に離着陸する航空機も見学できた。

航空会社には、弛まぬ安全対策の取組みを強化し、真摯に空の安全と向き合っていく姿勢を貫いてほしいと思う。



整備工場見学

見学終了後、モノレールに乗車。羽田空港国際線ビル駅で下車。展望デッキ(ビル5階)で離着陸する旅客機を見学したり、お土産や食事処が並び、江戸小路を散策して、充実した日程を終了した。